

令和4年度「重点指導事項」について（お願い）

令和3年度第51回全国中学校剣道大会の運営及び試合・審判についての反省と今まで引き継がれてきた課題から、次年度の北海道大会に向けて「重点指導事項」を策定いたしました。つきましては、下記の項目について、各都道府県の大会や強化会・講習会等での積極的な指導をお願いします。

記

1 申し合わせ事項についての徹底

(1) 「申し合わせ事項」（別紙）についてのご理解とご協力、指導の徹底をお願いします。

用具・着全般(文字等を含む)について従来の伝統的な色や形を安易に変更する傾向が若干見られますが、極力「申し合わせ事項」には加えず「指導」の形で対応します。規則に固執することなく「質実」という伝統文化の良さを積極的にご活用いただき、ご協力をお願いいたします。

2 礼法について

- (1) 蹲踞の「始め」と「終わり」を正確・丁寧にやる。
- ※ 「始め」抜きながら蹲踞する。
- ※ 「終わり」納刀した後、右手を右太股においてから立ち上がる。
- ◇ 詳しくは、剣道指導要領P44、45参照
- (2) 団体の礼の前や選手交代時における余計な所作は改める。
- ※ 団陣を組んでの発声やパフォーマンズ・胴づき、握手など
- ◇ 全日本剣道連盟剣道試合・審判運営要領「その他の要領」5項参照

3 その他

- (1) 危険かつ見苦しい暴力的行為は、厳に慎むよう指導ください。
 - (2) 「安易に左拳を構える」を中心とした剣道は、防衛姿勢をとらせないうちの「公正を害す」形に左拳を構え、中線に集中して、今後は引き続きのご指導ください。
 - (3) 「鏝受り合はれぬ」の解消。反則行為とセクシなメダル以下です。長いものが見受けられ、面紐の結ぶ位置で結ぶ。頭部保護で継続の手引きP25参照
 - (4) 面が紐の長さは結び目を位置が高い選手も見られました。面が外れれば、転倒時に結ぶ位置を保護で継続の手引きP25参照
 - (5) 袴など華美ならぬよう指導ください。また、学校代表として出場して
-
- いる大会にあっては、学校名、校章等の刺繍やワッペン以外、剣道着の袖につけたり、入れたりしないようにしてください。袴の裾には刺繍やワッペンをつけてください。
- (6) 試合者の名札は、生徒役員が判読しやすい字体にしてください。
 - (7) 試合者が、試合中に中止要請をする場合、「タイム」と発声するようご指導ください。

- ※ 以下は、全剣連から出されている「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判に関する事項」について、令和3年10月1日付けの『全剣連発出「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」を受け文(改定版)及び、令和3年2月配布、解説映像(DVD)を活用し、ご指導ください。
- ① 受けてください。
 - ② 差したり、代表は2分、延長は3分 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【小休止(深呼吸をする程度)】 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【面を外して休息・給水】 ⇒ 延長2分 ⇒ 延長2分 ⇒ 【小休止】 ⇒ 開始線まで納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。時間は3分とする。
- 【小休止】 ⇒ 10秒程度の深呼吸。
- 【休息・給水】 ⇒ 開始線まで納刀し、待機場所に戻って面を外し、所定の場所で水分補給を行う。時間は3分とする。

付記 本件に関する問い合わせ先 剣道競技部長 國原 宣昌
(公財) 日本中学校体育連盟 福島市立北信中学校
勤務先 : 福島県
電話 : 024-553-5049